

地域の労働者と青年の結集をめざす

# 横三労連新聞 第165号



2020年7月20日発行

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: [yv2t-tnk@asahi-net.or.jp](mailto:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp)

046-823-0210 (内線433) 238-0006 横須賀市日の出町2-9-19



## K苑の6人 医労連個人加盟労組に加入!

労働相談を受けているK苑の方とは、その後、7/8にも直接お会いし、常勤職員全員の6名が参加されました。

彼らは、6/24に、事業団幹部と話し合いを持ち、その場で今回の時間延長に伴う増員を認める発言を引き出しましたが、他の問題については、不十分な結果となっています。

その後職員全員で話し合った結果、常勤職員6人が、県医労連個人加盟労組に加入し、この機会に追求を強めて、事業団の体質を変えたいとしています。

そのため、具体的には、①団体交渉の実施②市からの指導強化を考えています。①については、単一の労働組合を立ち上げること、②については、市議団との懇談を希望されています。どちらを先にするかを問われたので、同時進行で行く事をすすめました。①については、横三労連に加盟する可能性が高く、愛加那労組の団交での、うわまち病院労組委員長の発言について、強い関心を示しています。

## 横須賀原水協、定期総会開催!

横須賀原水協は、6/9の予定を1ヶ月繰り延べ、7/9、産業交流プラザにて、定期総会を開催し、DVD「放射線を浴びたX年後～クリスマスソング」を鑑賞しました。日本のマグロ漁船員もイギリスの兵隊とともに10代で被ばくし、病苦に悩まされる人生を余儀なくされました。

横三労連からは、各単組持

ち回りで69行動に参加している事を発言。その他、来年の市長選挙が重要だとの発言もありました。

また方針では、今年も「原爆展」(7/11~8/7(土)@サポセン)の開催が提起され、広島市立基町高校の「原爆の絵」(複製)の展示、「あの夏を描く 高校生たちのヒロシマ」上映を行います。



## 米軍関係者、市内の民間ホテルに滞在!

横須賀市内のホテルに、入国した米軍関係者が滞在していることが分かりました。空港でのPCR検査で新型コロナウイルスの陰性が確認された米軍関係者で、結果にかかわらず行われる14日間の待機場所として滞在しています。人数やホテル名など、市は「承知していない」そうです。

市は「今回に限らず、普段から米軍関係者が市内のホテルから基地に通うケースはある」とした上で、「この状況について、公表は考えていない」としています。